

## 後付けドライバー ステータス モニターを発売

～新車に加え、既販の大型商用車両の安全性向上に貢献～

株式会社デンソーセールス（本社：東京都渋谷区、社長：村上 幸彦）、株式会社デンソー（本社：愛知県刈谷市、社長：有馬 浩二）は、トラックやバスなど商用車の交通事故低減に寄与する安全製品として、既販車両に**後付け装着可能なドライバーステータスモニターを5月15日から発売**します。

今回発売する製品は、車室内のカメラで撮影したドライバーの顔の画像から脇見、眠気、居眠り、不適切な運転姿勢などの運転状態を推定し、音声で警告する安全製品です。全国のバス・トラック販売店、デンソーセールスおよびデンソーサービス店などにて販売を開始し、順次、海外でも販売していく予定です。

デンソーは、交通事故のない安心、安全な社会を目指し、従来から乗用車だけでなく、商用車向けの安全技術、製品の開発にも取り組んできました。2014年にはドライバー ステータス モニターを開発し、現在、大型トラックや大型観光バス向けに製品を提供しています。また2017年には、ドライバーの状態検知性能の更なる向上を目的にFotoNation社(フォトネーション 本社：アイルランド)と協業を開始し、次世代型製品の開発を加速させてきました。新製品は、FotoNation社の持つ顔画像認識およびニューラルネットワーク技術により、検出する顔特徴点を格段に増やすことで、運転状態の検知精度とマスクやサングラスなどによる顔の部分隠ぺいに対するロバスト性を飛躍的に高めました。

トラックやバスなどの大型商用車両は事故による被害が甚大化しやすい一方で、車齢が長いため既販車両には最新の安全装置の普及が進みにくいという課題があります。今回発売するドライバー ステータス モニターは、既販車両に後付けで装着することができるため、大型商用車への安全装置の普及を加速させ、前方不注意などに起因する事故の低減に貢献します。

また、本製品で検出した運転中のドライバーの状態はSDカードに記録され、運行管理者とドライバーは、警報の回数や警報時のドライバーの画像などの運転状況を振り返ることができ、安全運転指導に役立てることができます。また2018年夏には、デンソーより発売予定の商用車向け新型テレマティクス端末、または富士通株式会社製のクラウド型デジタルタコグラフと連動させることで、リアルタイムに運行管理者にドライバーの居眠り運転等の状態を通知することも可能となり、ドライバーへの注意喚起や、緊急時の迅速な対応が可能となります。

<製品仕様>

本体	動作温度範囲	-30℃~70℃
	電源電圧	8V~32V
	消費電流	最大 1.0A (24V時)
	暗電流	最大 3mA
	外形寸法[(幅×(奥行き)×(高さ))]	148mm × 112mm × 35mm
カメラ	動作温度範囲	-40℃~90℃
	外形寸法[(幅×(奥行き)×(高さ))]	106mm × 26mm × 27mm
メーカー希望小売価格		オープン価格

<製品写真> (左側：カメラ、右側：本体)



(取り付け例)



※詳しくはホームページにて

<https://www.denso.com/jp/ja/products-and-services/automotive-service-parts-and-accessories/dn-dsm/>

報道に関するお問い合わせ先

株式会社デンソーセールス 経営企画部 人事室  
広報・CSR推進課 中村・有賀 TEL 03-6367-9895

DENSO SALES JAPAN CORPORATION

Copyright© DENSO SALES JAPAN CORPORATION All Rights Reserved.